

南丹市 意見交換会まとめ

グループ①

■家族も安心して暮らしたい

親の会などの会合で自由に使える（無料で）場所を確保して欲しい
会員入会の件（個人情報）
家族支援、高齢者の当事者を含めた支援
会合、買物、病院、施設等へのアクセス 足
精神科受診で南丹病院、美山診療所、京丹波病院での診療の内容の確充

■障害児の明るい未来が開けるように

丹波支援学校を卒業後に通所する作業所や施設が定員いっぱいの状況です。
障害者の作業所の作業内容や一日の過ごし方、職員の定数や配置を十分なものにして下さい
障害者の雇用がすすむように行政からの働きかけをお願いします
医療の整った施設を確保していただきたい
重度肢体不自由児は学校卒業後に行く場所が無い
様々なタイプの障害者がニーズにあった働ける場所・企業をもっと増やして欲しい
障害児の放課後や長期休暇の過ごし方に受け入れ先がありません。特に重度重複障害児にとっての。
南丹市としてまずは市役所などに障害者雇用を推進していただき、企業就労につなげて欲しい

■教えて欲しい・知ってもらいたい

情報入手について、家庭内でのケーブルテレビの活用法
福祉のため各々の家庭、人間関係に入り込めるか？相談

■災害があっても守られる安心、安全

南丹市各町に住んでいる障害児者の実態を把握していただきたい
災害者弱者への取り組み

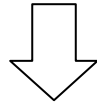
■要望

重度の精神障害者で病院に行かない人、就労できない人、入退院を繰り返す人の在宅訪問ケア、支援を望む
障害者の方々が安心して歩ける（暮らしていける）地域社会になって欲しい
他府県、市町村へ積極的に出向いてもらい、南丹市にいい所をどんどん取り入れて欲しい
地域活動への参加及び呼びかけ
行政関係、並びに各地域での何々会等、数が多すぎるため役員選考の難しさ
支援法、国だけでなく南丹市のとりきめ等

グループ② 地域生活

■理解

障害者の就労体験の場として、公的機関の積極的な受け入れについて
精神的ケアに必要な利用者への対応
身体・知的・精神障害の理解と受け入れ
企業における障害理解が広がらない
☆発達障害児者への正しい理解の普及
障害の多様化に伴い、支援レベルの維持のため医療との連携、学習機会



■検証

発達障害支援の専門性担保と効果の検証

■社会参加

☆発達障害のある人の卒業後の活動の場の確保
卒業後の福祉就労先、企業就労先の確保。とりわけ重度肢体の子の行き先がない
人材の確保のための広報活動と成果向上のためのフォロー体制
障害者の地域行事への参加
受入場所の確保、スペース拡充、用途変更、施設新設
雇用率とは別枠で障害者求人を行い、重度の方の雇用を進めてもらう（南丹市として）

■地域生活での総合的なサービスの体制の整備

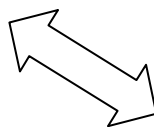
☆重度重複障害の子供達の放課後、休日の支援
☆重度重複障害の人の日中の活動の場の確保
障害のある子が長期休業中に安心して過ごす場の確保
施設入所利用者の地域移行
医療的ケアを要する子を受け入れることができる場の確保（日中一時支援を含む）
医療が必要な重度障害児・者の日中活動の場＝身近な所に
自立した暮らしの場 ex. GH、CH…etc
高齢化への対応検証

■バリアフリー

☆ノーマライゼーションの普及＝障害児者だけの集いから極力地域の活動の一員へ
JR八木駅の利用に係って車椅子での使用が困難
学校までの公共交通による移動手段が無い
☆公共施設にバリアフリーのトイレが少ない
☆遠方の就労の場に行く場合、交通費の支援を
スクールバス停までの移動手段の確保

■家族支援

家族支援のあり方の検討
養育困難家庭への対応が困難



■相談

相談事業の広がりやケースに対応できる連携のスピード化・即応力
発達障害者の相談が急増している。その中には、手帳を持ってもらえない方や初めて支援機関を訪ねる方が多数います

グループ③ 南丹市に活力はいっぱいある→伸ばす

■働く人・担い手

支援員待遇の事業所間格差
小規模事業所職員不足（自立支援法の不備）

■仲間の仕事

作業（仕事）の創出 官公の努力・工夫を
官公需 障害を持つ人への仕事づくり
利用者の工賃が低すぎる
仲間の最低工賃保障

■自立支援協議会

自立支援協議会での制度、政策の点検→行政への政策提起の力
協議会が法的不備をうめるべき課題を明らかに
専門性を持つ人材確保が困難（研修）
研修システム

■根本問題

圏域でプラン整備
八木圏域内の中期展望を
地域資源が乏しい（作業所、グループホームなど）
誰でもが利用できる居心地の良い施設が欲しい
適切な医療機関の設置を
発達障害児について一貫した支援が出来る体制作りをして欲しい
緊急の対応も含めて医療、療育、相談などに関する情報が確実に届いている？

■展望—地域でもっと多様な事業を財政のうち○

発達障害児の支援システムの構築
民間事業への財政援助。自主的事業も大切な資源。
もっと多角的な資源開発
人材育成にかかる費用の助成 or 補助
施設拡充したし財源なし
民間福祉法人として職員の労働条件をどう保障するか
施設拡充（・資金 ・財政支援 ・民間施設）

■緊急事態

防災、災害時の対応

■ひろげよう

知名度が低い
地域活動支援センターそよかぜ日吉

■移動

ヘルパー不足、送迎のエリア広い
広範囲の地域であるための交通の便
障害を持つ人の交通権、移動権（移動は権利）
移動支援にかかる費用が不十分

■行政（もっと積極的に）

J Rの駅舎のユニバーサル化←行政はもっと積極的に
J R駅舎の利便性向上。エレベーターなど

■地域

■家族

■とりくみかえる

障害者を持つ人への理解を広げる場（地域で…）

家族が想いを話せる場、意見を自由に出せる場

発達障害に対する障害特性の理解→市民が不十分

家族内に問題が閉じ込められる。抱え込まないようにする専門家の積極的なアプローチ

当事者とその家族を本当につかめているか？

■変化

無年金の方の調査及び支給要件、緩和。

精神疾患？→しかし、受診していない。

利用者の高齢化。障害者世帯と高齢化に対する施策を。

グループ④ ” 障害者に真の理解を” ～個人情報やPR不足が壁！～

■医療

自閉症の方の日中の過ごしが保障できる事業所
身近な地域で日中活動が出来る生活介護事業所(特に医療のサポートが必要な重症心身障害児者を対象とするような)
②京都府中部地区のみ緊急入院病院がなくその対策すら長年関係者が訴え続けているが行政施策が全く執られていない

■行政

①精神障害保険福祉推進家族会”以下つぼみ会”で団体として困っている事は、園部町だけでも5～60名が手帳(南丹市143名)保持者、通院100名近くいながら家族会員15名不足のため活動が弱く公的PRを頼む
②障害施策の補助金を受け太陽の園運営で行われているか。行政のかかわりが不明で精神障害の団体として又いこいの家運営面でも困っている。
③協議会では報告書作りの内容が毎回同じ内容で繰り返されるだけで具体的な実行感が感じられないので今後期待する
④厚生省の四大疾患を上回る精神疾患の現状の切実さが当市には見られない(5人に1人が何らかの心の病気を持つ)
他府県・市町村の施設見学を積極的に行ってもらい、良いところを南丹市に取り入れてもらいたい(箕面市など)
入所の方や通所の方の制度移行に向けての説明はきちんとしてもらいたい→利用者の方の混乱を最小限におさえるために
高齢化、高齢により障害の重度化により会員減少、会員の増強も個人情報により進められない

■結婚

結婚相談南丹分室支援(障害者の方の)支援が難しくなっている

■災害時

⑤”心の病”が今回の震災を経て大きな社会問題となっているため当市においても充実したネットワークの確立が望まれる
災害時に障害者の「いのち」を守れるか…体制・地域づくりを
地域的にまだまだ障害者への偏見があり地域を変えていきたい

■就労

企業と作業所とのコラボで障害者の知恵や作品に開発をされたい
重度の障害児には作業所を増やして頂きたい(選択できる程度に複数)
福祉就労・一般就労(手帳のない人)の受け入れ先の開拓と企業側への行政からの働きかけ
障害者雇用は行政機関がモデルとなってもらいたい
公共施設、市役所などへの就労Aを望み企業側に手本を示して頂きたい
障害種別に合わせた作業内容と職員さんの配置を望む
「障害があっても働きたい」の思いを大切に就労の場の確保、支援体制を
障害者も同様に安定した給料が保障されることが動く原動力と理解されたい

■移動

ガイドヘルパー利用が正しく使えていない
同行援護になり利用料発生。負担軽減を(無料に)
駅などのバリアフリー、ノンステップバスの路線整備など→障害者の方が不便と感じることを聞き取って減らしていく努力が必要(自立に向けて)
公共のバス運行が減っていることを改善してほしい
障害があっても自由に移動できるような制度(ヘルパーさんの仕事に制約あり、問題)
バスの運行を考えて欲しい
高齢により自分で運転が出来なくなり心配
八木駅の京都からの帰りの階段が困る

■学童期

日中一時やデイサービスを受け入れる事業所の拡大
放課後児童クラブでの障害児への対応→スタッフの知識や技術の向上への取り組みをして欲しい
家族に問題があったときの障害児の受入れ先を具体的に教えて欲しい

グループ⑥ 南丹市への要望

■事業所の現状

施設職員の定着率が低い
職員の資質の向上を図る努力をお互いにしていく必要がある
外出時の付き添いがいない
作業所から帰られてからの訪問サービスが多くなってきたため職員の確保が難しい

■その他

結婚を希望している方が多いが出会いが少ない
医療機関（特に救急）が少ない、遠い

■日中活動の選択

入所・通所・サービス、施設の選択肢が少ない
事業所が少ない
児に対する支援がこの地域弱いのではないか
南丹市には障害のある方の働ける場が少ない
就労の場が少ない

南丹市独自に障害福祉に対する施策があっても良い（助かる支援はいっぱいある）
南丹市全体の事業所間の意見交換の場があっても良いのでは
聴覚障害者には防災無線が聞こえない
アンケートが届いていたがご本人には難しすぎた、答えられない
月一回でも市の方から事業所へ足を運んで事業実状を知って欲しい
ご利用者宅のサービスに複数の事業所が関わっています。連携が難しい

■交通の便

今の歩道や駅等障害者には厳しい
歩道の充実
市役所の駐車場がいつも満車である
交通の便が悪く送迎が必要だが対応できる程の人員がいない
市内のバスの本数が少ない（通勤時間帯のみの充実）
外出時の交通の便がない
移動に伴うサービスがない
ガイドヘルパーをご利用されているが交通の便が悪い（土、日は外出支援が利用できない）
多様な車椅子があり、福祉タクシーが自由に選べない

■相談支援の充実

相談員がお一人では無理がある（南丹市）
旧町単位での相談支援事業所が必要でないか

グループ⑦

●社会資源の充実にむけて

■交通の便など

視覚障害者の会で府等の委託事業(学習や体験等)を月2回やっています各町8町会場を使用しています。会場までの交通アクセスについてガイドヘルパーと云うサポートの方が車に乗れないとか家族が車で送れないとか交通の不便な人が参加しにくくなっている

精神障害者の緊急時の時南丹地域に病院が無い。是非南丹地域に作って欲しい

園部の町内バスは商店街を通らず駅行が中心になっていて土・日曜は間引き運転になっているどこへ行くにも交通の便利が悪い

交通手段が乏しい。行きたいときに行けない

八木駅舎、改修工事(バリアフリー)希望

南丹病院へ行くのに不便(アクセス)、便利に

■支援について

相談するところが少ない。相談窓口を身近いところにおいて欲しい

子供が障害者で親が面倒を見ているが親亡き後のことが心配

重度の障害のある人の支援を大切にしたい

障害者福祉へのサービス事業が表向きなものにならないようにしっかり利用できるサービスを実施して欲しい

学校卒業後の進路確保(障害の特性に合わせた)

市で福祉状況や情報をしっかり関係者・家族に知らせてもらいたい

■支援する家族協力の減少

障害者の父母会の会員数の減少

精神障害者の家族会員ですが会員の高齢化又新しい入会者が無く会員の減少がさみしいです

■精神医療の充実

精神疾患が全ての作業所を受け入れている園部共同作業所の通所者の支援を望みます。退所後の人の訪問ケアをしてほしい。障害者の所得保証で障害年金無年金者の救済、南丹市議会で早急に審議していただきたい